

学生交流から始める国際化 その2

—第二外国語の履修学生を対象とした教育交流活動報告—

酒匂 康裕・徳永 恭子・大東 和重

1. はじめに

近畿大学では平成21年度現在、第二外国語の科目として、ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・スペイン語・イタリア語が開講されている（スペイン語・イタリア語は現在法・文芸学部のみ開講）。第二外国語科目は、後述するように学部によって取得可能な単位数が4～6単位と異なり、開講されている科目数も異なるものの、多くの学部では入門から応用まで、計10科目（10単位）が開講されている。また、これらの外国語科目と相互補完する形で、当該外国語の歴史的・文化的背景や、日本語と比較対照することでその外国語の性質や文化的な相違を講じる、共通教養科目「国際化と異文化理解」が全学で開講されている。

ただし、本学の第二外国語教育は上記の正規カリキュラムだけで展開されているのではない。本学で第二外国語を履修する手段としては、語学センターにおける講座や、中国語・韓国語の短期留学制度、第二外国語学習相談室が設けられている。より高度な外国語力の習得を目指す学生は、正規のカリキュラム以外に、これらの学習支援を活用して、就職にも役立つ、実用的な第二外国語力を身につけることが可能である。

このように近畿大学の在学学生は、正規のカリキュラムや種々の学習支援の中で、各自の選択した第二外国語を学ぶことができるが、外国語の習得において教室という場は限定された学習の機会を提供するにすぎないことも事実である。外国語はいわば「生き物」であり、教科書や録音された教材だけでなく、実際にその外国語が日常的に話されている空間に身を置くことは、習得に大きな助けとなる。その手段の一つとして短期留学の制度を設けているが、時間的・経済的な理由や、募集者数に限定があることから、参加できるのはごく一部の学生にすぎない。本学の特色ある英語教育の一つに、近畿大学英語村 e-cube が挙げられる。第二外国語の教育においても、e-cube 同様の機能を果たす、日本にいながら外国語が日常的に使われている空間を提供することが求められる。

昨年度の平成20年から、第二外国語の教員を中心に、英語の教員の支援を受けつつ、

日本人学生と留学生の交流を目的とする活動を展開したのは、以上のような理由に基づいている。具体的内容としては、前期に日本人学生と留学生との交流会である、『パートナーシップ』を開き、後期には日本人学生が留学生のパートナーによる支援を得つつ、中国語もしくは韓国語を用いてスピーチを行う、『ことばのフェスティバル』を開催した。これらの活動については、昨年本誌に報告として、魏徳君・酒匂康裕「学生交流から始める国際化－第二外国語の履修学生を対象とした教育交流活動報告」を掲載した。

本年度も教育交流活動として、学習支援プログラム委員会主催の、第2回『パートナーシップ』及び『ことばのフェスティバル』を開催した。本稿では本年度のこれら活動の報告を行い、併せて本学における第二外国語教育のあり方について若干の検討を行いたい。

2. 教育交流活動の概要

第2回『パートナーシップ』及び『ことばのフェスティバル』の、①企画意図及び目的については、前号の報告と同様なので、ここでは本年度の、②実施内容、③反省点について記す。

2.1 第2回『パートナーシップ』実施内容

① 企画意図及び目的

本学の日本人学生と留学生が出会い、交流できるきっかけを提供し、本行事を通じて学生間の自主的かつ積極的な交流活動へと展開することを目的とする。前号の報告を参照のこと。

② 実施内容

- ・日時： 2009年7月1日（水）15:00～17:00
- ・場所： 11月ホール地下1階 Cafeteria November
- ・当日の流れ
 - ア. 受付後、サンドウィッチと飲み物を受け取り、待機
 - イ. 開始の案内、ルール説明
 - ウ. 学生同士の挨拶と名刺交換、フリートーキング（留学生の母語をできるだけ使用するように促す）
 - エ. 外国語及び日本語の早口言葉を用いたゲーム
 - オ. 引き続き、学生同士のフリートーキング

・参加人数及び内訳：86名

* 2008年度の第1回は71名

*教員の参加者は10名

表1 参加学生数 (名)

	事前申し込み	当日申し込み	合計
日本人学生	51	—	51
留学生*	31	4	35
	82	4	86

*留学生には別科生も含む

表2 参加学生の学部内訳（日本人学生のみ） (名)

学部	人数	学部	人数
法	11	文芸	22
経済	3	理工	5
経営	10		

表3 履修したことのある外国語（複数回答、日本人学生のみ） (名)

ドイツ語	2	スペイン語	3
フランス語	4	イタリア語	3
中国語	14	英語	20
韓国語	21		

表4 留学生の出身地 (名)

中国	18	韓国	7
台湾	9	ドイツ	1

③ 反省点

・空間の確保

参加者数が昨年を大きく超えた点は喜ばしい。留学生との交流を求める日本人学生の数は多く、実は参加希望者は募集枠をはるかに超えていたのだが、会場の収容人数に限界があるため、この人数で募集を打ち切った。参加者数が多いほどいいわけではないが、今後も参加希望者は増えることが予想される。開催の方式も含め、会場については再検討すべきである。

・開催時間の再検討

関係教員の授業時間に重ならない時間帯に開催するため、水曜日の午後、4時限から

表5 発表学生の内訳及び観客数

発表言語	発表人数(名)	学部内訳(名)
ドイツ語	4	経済1 文芸3
中国語	5	法2 経営2 文芸1
韓国語	4	経営1 文芸3
日本語	2	経営1 留学生別科1
タイ語*	1	理工1

*タイ語については審査員がいないため、特別枠として参加

観客	約50名	約50名教職員も含む
----	------	------------

・発表内容の審査

ドイツ語、中国語、韓国語、日本語(英語の教員が担当)の審査員各2名、計8名が、担当言語については語学面から、担当以外の言語については態度面から審査。

・結果

1位:文芸学部3年生(ドイツ語) 2位:法学部3年生(中国語)

3位:経営学部1年生(日本語)*

特別賞:文芸学部1年生(中国語)*・文芸学部3年生(韓国語)

*3位の経営学部生は留学生、特別賞の文芸学部生は中国外国語外国文学専攻中国語・韓国語文化コースの在学生。その他は第二外国語として各言語を習得した学生

③ 反省点

・準備時間の確保とパートナーとの連携

昨年度より時間的に余裕を持って参加を呼びかけ、練習に十分な時間を確保できるよう計らった。そのおかげが、スピーチの水準は格段の向上を見せ、入賞者は学外のスピーチコンテストにも充分参加できるパフォーマンスを見せた。その一方で、準備に十分な時間を割けなかったと思われる発表者もいる。パートナーとの連携の強化も含め、準備にさらに時間をかけることが期待される。

・言語のより一層の多様化

中国語と韓国語のスピーチに限られていた昨年度と異なり、本年はドイツ語、留学生の日本語、さらにはタイ語(審査外)のスピーチまで加わった。本学の第二外国語科目には、他にフランス語・スペイン語・イタリア語があり、これらの言語による参加者も

期待される。パートナーを組む留学生の入学が期待される場所である。

・開催場所の検討

今回使用した多目的ルームでは、プロジェクターを使用して原稿の日本語訳を掲示した。スピーチの日本語訳を要約して配布した昨年と異なり、観衆は内容を確認するため顔を下げることがなくなり、発表者の態度も含め十分に鑑賞することができた。第二外国語を学ぶ学生たちにとって大きな刺激になったと思われる。ただし、理工学部の建物内にある多目的ルームは、会場としてはやや目立たない場所である。この刺激をより多くの学生に分かち合ってもらうためには、より観衆の集まりやすい開催場所を確保すべきだと思われる。

3. 第二外国語教育における教育交流活動の位置づけ

本学で第二外国語教育の学習支援の一環として、『パートナーシップ』及び『ことばのフェスティバル』を開催した経緯については、前号の報告に詳しい。この活動を開始した目的の一つは、初級段階を終え、「学んだ言葉を教室の外でも使いたい」、「学んだ言葉で言葉の背景にある文化に触れたい」といった希望を抱く学習者に、本学で学ぶ留学生との交流の場を提供する、ということであり、もう一つは、本学で日本語や専門を学んでも、なかなか日本人学生と親しくなる機会がない留学生に、日本人学生との交流の場を提供しよう、というものである。これによって、第二外国語の習得が、教室で教員から教えてもらう段階を終えて、学生が自ら習得の目標を設定し、主体的に学び始める段階へと進むことを期待している。

上記の目的を設定する前提には、本学で第二外国語を選択し、一定のカリキュラムを修了した学生が、すでに第二外国語の習得において一定の段階に達している、という現状がある。語学教育部で第二外国語教育に従事する教員は、本学における第二外国語教育の充実を目指して、数年来教育の改革や研究の推進に努めてきた。具体的な改革推進の場として、第二外国語教育研究会を結成し、年二回の例会を開催、また語学教育部が年一回開催するシンポジウムでも発表するなど、第二外国語教育の理念と方法について、くり返し討議を重ねてきた。

この結果は、参考文献に記した各種の報告として公表されている。第二外国語教育の理念については、山取（2005）や同（2008）で提示し、また現状と今後の方向性については、李（2007）・大西（2006）・オストハイダ（2007）・魏（2008）などで議論を展開してきた。初修という第二外国語の性質と、これに対応した教授法については、李（2005）・好並（2009）に実践的な取り組みの報告がある。教科書の作成については大西（2008）の検討に基づき、

本学仕様の中国語教科書を作成した（大西・魏・大東『自己表現を高める 自分のことばで中国語』光生館、2008年）。また第二外国語教育と専門教育の接点については、大西（2005）や魏（2007）で検討してきた。

これらの理念や方法に関する討議に基づき、本学の第二外国語カリキュラムの改革や学習支援制度の整備に取り組んできた。カリキュラムについて具体的に見てみよう。まず、現在本学で卒業時に認められる第二外国語の単位数を、医学部を除いて確認すると、以下の通りである。

表6 単位数（平成21年度）

学部	外国語 卒業に必要な単位数	英語 卒業に必要な単位数	第二外国語 卒業時に認められる 単位数
経済	22	16	6
経営	16	10	6
法	18	14	4
文芸	12	8	4
理工	14	10	4
薬	12	8	4
農	14	10	4
生物理工	12	8	4

医学部を除く各学部で認められる単位数は4～6で、これは週1コマの授業を2年間（計4単位）、もしくは、1年次で週1コマ、2年時で週2コマの授業（計6単位）を履修すれば取得可能な単位数である。実際には、卒業時に認められる単位数以上に、第二外国語の科目をもっと多く受講したいという学生は、数多く存在する。

そのため、現在本学の本部に所在する学部のうち、薬学部を除く各学部には、計10科目、10単位分を設置している。カリキュラムは以下の通りである。

表7 本部開講の基幹・発展科目（すべて半期で1、通年で2単位）

科目名	一年生	二年生	三年生	四年生
総合1, 2	○			
総合3, 4		○		
コミュニケーション1, 2		○		
コミュニケーション3, 4			○	
カルチャーセミナー A, B			○	

6単位取得可能な経済学部の学生を例にとると、1年次に総合1,2を履修した学生は、2年次に総合3,4を、3年次でカルチャーセミナーA,Bを履修することで、3年間連続して週に1コマの第二外国語を履修することが可能である。あるいは、2年次で総合3,4及びコミュニケーション1,2と、週に2コマを履修することも可能である。実際には、これらの科目を履修する過程で、より高度な第二外国語を習得したいと考えるようになった学生は、学習の機会を求め、卒業に認められる単位数を超えて、コミュニケーションやカルチャーセミナーなどの発展科目を履修している。

学生のもっと学びたいという期待に応え、大学入学後に新たに触れはじめた外国語を実用的なレベルまで向上させるサポートの手段として、カリキュラムと対応する形で、さまざまな学習支援を整備してきた。主なものは以下の通りである。

- ① 語学センターで検定対策など実用的な科目を設置
- ② 中国語・韓国語の短期語学研修を開催
- ③ 第二外国語サロン（学習相談室）を設置

以上の数年来の取り組みの結果、本学の各学部において第二外国語を、単に単位のため、あるいは教養や趣味の一つとしてではなく、就職活動において資格として役立てる、一年以上の留学を経験し、社会人となってから第二外国語を使用する実務に従事する、もしくは大学院進学の際の専攻として選択する、といった水準まで修得する学生が、毎年数十名単位で生まれるようになった。

この現状をさらに発展させたいというのが、国際化を目的とする教育交流活動を始めた動機である。第二外国語教員の作成したカリキュラムが機能し、所期の目的を達しつつある現状から、さらに一歩進んで、教員の指導に基づく個別のケースとしてではなく、学生同士が刺激し合って成長する段階まで高める手段として、『パートナーシップ』と『ことばのフェスティバル』の企画に至ったのである。資料編の参加者の感想からは、彼らが教室という枠をはるかに超えて第二外国語を学びつつある様子が読み取れるであろう。

前述したように本学には、英語ネイティブとふれあう空間としてe-cubeがあるが、これはネイティブスタッフの人的資源を大学外に求めている。第二外国語のうちアジアの言語については、一定数の留学生が在学する本学では、大学内に人的資源を求めることが可能である。また本年度は、留学生別科にドイツ語圏からの留学生が在籍しており、アジアの言語だけでなくヨーロッパの言語も交流対象とすることができた。これらの人的資源を

生かし、日本人学生と留学生の交流活動を通じて、教室の外で、しかも学生同士が刺激し合って、自主的に学ぶ環境が、『パートナーシップ』及び『ことばのフェスティバル』によって生まれつつある。第二外国語教育のカリキュラム、学習支援が、本学の国際化の一つの柱となっていることが理解できるだろう。

4. むすび

最後に、『パートナーシップ』にしても『ことばのフェスティバル』にしても、本学に在学する留学生の存在があってはじめて成り立つ活動であることに、注意を促したい。特に『ことばのフェスティバル』は、一見スピーチコンテストのようであるが、実はそうではない。このイベントに参加するために、日本人学生は留学生と、留学生は日本人学生とパートナーとなり、発表に向けて原稿のチェックや発音の練習をくり返す。この活動の主要な目的は、実はイベントそのものではなく、イベントへの参加を通して日本人学生と留学生が密接に交流し、言語だけでなく異なる文化的な背景を持つ人と交際することの意味を理解する点にある。国際化とは、教室で外国語を強制的に学ばせることではなく、学生が学びたい言語を主体的に選択し、さらに学んだ言語を用いて実際にその国の人と密接に接し、その国の文化や言葉をもっと知りたいと積極的に考えるようになることから始まるだろう。

まずは何よりも、参考資料の、参加者のスピーチ原稿及び参加者の感想を読んでもらいたい。参加学生のうち文芸学部の中国語・韓国語文化コースに所属する学生は、わずかに2名に過ぎない。この2名、独学でタイ語を習得した1名、留学生の2名を除く、11名の参加者は、すべて第二外国語としてドイツ語・中国語・韓国語を選択し、学び始めた学生である。教室での学習時間（最大で通年5コマ）を考えると、そのスピーチの水準には驚くべきものがある。学生が自らの意志で学び、留学生との協力関係を築くことで、これだけの水準に達することができるのである。

現在本学の、本部・農・医・生物理工の全学部で、一年次から第二外国語を1科目選択できる。大学に入って新鮮な気持ちで、自身の好みや趣味に従って、新しい言語を選択し、学び始める。そこに教員からの少しの働きかけ、刺激があれば、学生は主体的に学んでいく。今回の活動を見、資料の原稿や感想を見れば、第二外国語を一年生で、わずか週に1コマでも選択できることが、いかに学生たちの可能性を広げることにつながっているか、理解できるだろう。一年生が週に1コマの第二外国語を選択できることには、実は1コマ以上の重みがある。今後も全学でこのカリキュラムを維持し、さらに種々の学習支援活動を通

じて、学生たちに学ぶ機会や刺激を提供していきたい。

参考文献

- 李潤玉（2005）「初修外国語授業の入り方」『語学教育部ジャーナル』創刊号 pp.119-128
2005年3月
- 李潤玉（2007）「第二外国語学習の現状と学習者・教員間のコミュニケーション」『語学教育部
ジャーナル』第3号 pp.51-58 2007年3月
- 大西博子（2005）「外国語教育との関連性を考える 基礎ゼミを担当して」『語学教育部ジャー
ナル』創刊号 pp.185～193 2005年3月
- 大西博子（2006）「第二外国語としての中国語教育のありかた」『語学教育部ジャーナル』第2
号 pp.99-114 2006年3月
- 大西博子（2008）「これからの第二外国語教育の方向性 中国語統一テキスト開発の取り組み」
『語学教育部ジャーナル』第4号 pp.13-24 2008年3月
- オストハイダ・テヤ（2007）「現状維持も放棄もできない 大学における第二外国語教育を
再考する」『語学教育部ジャーナル』第3号 pp.45-50 2007年3月
- 魏穂君（2007）「近畿大学における中国語教育のあり方 学生のニーズに応える授業展開の試
み」『語学教育部ジャーナル』第3号 pp.37-43 2007年3月
- 魏穂君（2008）「近畿大学におけるこれからの中国語教育 他者を尊重することを学ぶ」『語学
教育部ジャーナル』第4号 pp.25-36 2008年3月
- 魏穂君・酒匂康裕（2009）「学生交流から始める国際化 中国語及び韓国語の履修学生を対象
とした教育交流活動報告」『語学教育部ジャーナル』第5号 pp.141-172 2009年3月
- 酒匂康裕・安龍洙・金重燮・趙顯龍（2009）「韓国人学習者の日本留学に対するレディネス及
びニーズの分析 日韓共同理工系学部留学生事業第9期生を中心として」『近畿大学語学教
育部紀要』第9巻1号 pp.65-88 2009年7月
- 山取清（2005）「第二外国語教育の現状と未来」『語学教育部ジャーナル』創刊号 pp.77-90
2005年3月
- 山取清（2008）「第二外国語教育は何を目指すのか 新たな教育理念の確立と外国語教育の再
構築に向けて」『語学教育部ジャーナル』第4号 pp.141-150 2008年3月
- 好並晶（2009）「中国をヴィヴィッドに感じるために 授業内における「映像」の活用」『語学
教育部ジャーナル』第5号 pp.117-128 2009年3月

資料編

1. 第2回『パートナーシップ』アンケートの結果
2. 第2回『ことばのフェスティバル』発表原稿、原稿の日本語訳、発表者の感想
*発表者名等は伏せた。〔 〕は執筆者注。
3. 第2回『パートナーシップ』及び『ことばのフェスティバル』の写真

1. 第2回『パートナーシップ』アンケートの結果

1.1 回答者の学部

(名)

学部	人数	学部	人数
法	6	理工	2
経済	4	別科	2
経営	7	未記入	3
文芸	17		

1.2 履修している（履修したことのある）外国語

(名)

独	仏	中	韓	西	伊	日	英
2	4	14	21	3	3	3	20

*複数回答含

1.3 出身国（留学生）

(名)

中国	韓国	ドイツ
4	1	1

1.4 第1回パートナーシップへの参加の有無

(名)

参加有	参加無
4	1

1.5 参加理由

(名)

・いろいろな国の人と友達になりたかったから	14
・教員の勧め	9
・友人の誘い	5
・留学生と話してみたかった	4
・昨年参加して、韓国人の友達がたくさんできた（楽しかった）ので	2
・楽しそうだから	2
・留学生と話をして、積極的になりたかった	1
・交流が好きだから	1
・韓国語を活かして友達を増やしたかった	1
・昨年参加した学生から楽しかったと聞いた	1
・掲示板を見て	1
・このような経験は大事だと思ったから	1
・前回参加できなかった	1
・無回答	2

1.6 参加してみて良かった点

(名)

・いろいろな留学生と話せた	18
・友達がたくさんできた	12
・面白かった	3
・韓国語で話せてよかった	2
・日本人で他国語を使いこなせてる人の姿を見て感心した	1
・ご飯がおいしい	1
・みんなパワフルすごい	1
・無回答	3

1.7 今後への期待、改善点

	(名)
・会場を広くしてほしい	14
・エアコンが効くようにしてほしい	3
・英語圏、インドネシアの留学生も呼んでほしい	2
・ゲームの時間をもっと取ってほしい	2
・時間を長くしてほしい	1
・お弁当をもっとおいしくしてほしい	1
・これからもいろいろなことを続けてほしい	1
・中国語、韓国語に偏りがち	1
・引き続き来年も開催してほしい	1
・留学生とそうでない人の名札の色を変えれば分かりやすい	1
・人数制限	1

2. 第2回『ことばのフェスティバル』発表原稿、原稿の日本語訳、発表者の感想

2.1 法学部3年 中国語

《中文和我 我和中文的开始是“吃葡萄”!?!》

大家好，我是近畿大学法律系三年級的○○○。

你们听过这个绕口令没有？

“吃葡萄不吐葡萄皮，不吃葡萄到吐葡萄皮”

我去加拿大留学的时候，北京人的朋友突然对我说的绕口令。我学英语学了十年了，可是我的英语说得真不流利。那么，我大学二年级的时候，为了提高我的英语能力去留学了。时间久了，渐渐地我也可以很流利地说英语了。我每天跟朋友用英语聊天，我的北京人的朋友○○突然告诉我“吃葡萄不吐葡萄皮，不吃葡萄到吐葡萄皮。”我没想到在加拿大听到中文。我虽然理解“吃葡萄”，不过却不懂他的用法。然后，我发觉这是件很好的事。“噢，是这样啊！我现在的环境是可以培养我的中文能力!!”实际，室友有一个北京人的女生，同学有台湾人呀、广东人、西安人等等。这样的环境是很难得的机会，所以我决定了“在加拿大我一边学英语一边学中文。”

我每天继续要求朋友教我中文。他们不但没有逃避教我中文，反而欣然接受。如果我有不懂的单词和文法，他们会拼命地教我到明白为止。我跟他们一起去玩的时候，我尽力跟他们用中文对话。在这样的环境之下，我也变得会话中文了。在加拿大学习英语同

時、也接触了不小中文。我的朋友对我说，“你说得越来越溜了，”我完全听不懂。寻问之后，朋友才对我说明。这句话的意思是“你说得越来越流利了。”并告诉我“这是北京的语言。”我了解到原来这就是中文里的方言呀。

大家有没有因为什么事而有国际交流的机会呢？我是在听到“吃葡萄”这句话后，开始学中文，和国际交流。从今以后，我也要继续学外语，和很多国际交流。谢谢大家聆听。

「中国語と私 きっかけはブドウを食べることだった!？」

みなさん、こんにちは！

私は近畿大学法学部3年生の〇〇〇です。

みなさんは、今までにこの言葉を聞いたことがありますか？

「吃葡萄不吐葡萄皮，不吃葡萄到吐葡萄皮」

これは、私がカナダに留学していた頃、北京人の友達が突然、私に言ってきた早口言葉です。カナダへは四カ月間英語を勉強しに行きました。英語は中学校から長い間勉強してきましたが、なかなか日常会話を流暢に話すことはできませんでした。そこで、私は大学2年の時に初めて語学留学しました。英語は長年勉強していることもあって、話せば話すほど、どんどん話せるようになって行きました。そのように日々、英語だけで暮らしている中、私の友達〇〇がいきなり「吃葡萄不吐葡萄皮，不吃葡萄到吐葡萄皮」と言ってきたのです！！ 私は、まさかカナダで中国語を耳にするとは思いませんでした。「吃葡萄」という言葉は理解できたのですが、他のことは理解できませんでした。そこで私は素晴らしいことに気付きました。「そうか！ 私の今の環境は中国語も勉強できる環境なのだ！」と。実際、ルームメイトにも北京人の女の子もいたし、同じクラスに台湾人、広東人もいました。これはせつかくだから、英語も勉強しながら、中国語も勉強してしまおう！と決めました。

毎日、私は中国人の友達に中国語を教えてほしい！とお願いしつづけました。彼らは、いやということはなく、むしろ喜んで教えてくれました。文法も単語も分からないところは、分かるまで一生懸命教えてくれました。私は、彼らと一緒に遊びに行くとき、自分が話せる表現は中国語で話してみるということをひたすら続けました。そうやって挑戦していくうちに、だんだんと中国語も話せるようになってきました。私は、カナダに英語を勉強しに行ったのではあるが、ついでに中国語まで習得できてしまいました。以前よりうまくなった私の中国語に対し、私の友達が「你说越来越 liu（だんだ

ん流暢になってきたね)」と言われて、意味が分からなかったので「どういう意味？」と尋ねると「你说越来越流利的意思（だんだん流暢になってきたという意味だよ）」と説明した後、「これは北京の言葉です」と教えてくれました。私は、中国語の方言というのを実感できてとてもうれしく思いました。

みなさんは、どのようなことがきっかけで国際交流をしてきましたか？ 私は「ブドウを食べる」という言葉がきっかけとなり、中国語を勉強し続け、国際交流ができるようになりました。これからも、外国語を勉強し続け、国際交流も多く続けていきたいと思えます。

御清聴ありがとうございました。

〈感想〉

私は、英語の語学留学中に中国語を学ぶ機会が多かったので、それをもとにスピーチを考えました。はじめから中国語で書くほうが良いかもしれませんが、不慣れだったので、まず日本語から作りました。はじめに作ったスピーチを自分で読み直してみると、どうも味気がなく、印象に残らないようなスピーチだと自分で感じました。そこで、聴衆が聴いていて「面白い！」と思えるような構成で分かりやすい表現を考えました。インパクトを与えるという意味では、早口言葉を最初にもってきたのは良かったのではないかと自分で思いました。

日本語でスピーチを完成できたので、あとは中国語に翻訳するだけなのですが、そう簡単なものではありませんでした。そこで台湾人のパートナーにお手伝いいただき、私が表現したいニュアンスを説明しながら中国語のスピーチが出来上がりました。その後、〇〇先生に文法や表現を確認していただきスピーチが完成しました。

スピーチの内容がどんなに良くても、話し方が相手の興味を引き、印象に残る話し方をしなければ、良いスピーチが台無しです。そこで、私は発音には自信があったので聞き手が興味を引いてくれるように問いかけをしたり、間を置いたりして表現しました。当日は一番手で緊張する間もなく自分の出番になりました。しかし、いざみんなの前に立つといっきに緊張しました。しかし焦ることなく、自分らしい表現ができたと自負しております。

また、私はことフェスの内容と同じもので、JAL主催の中国語スピーチコンテストに出場しました。ことフェスでの反省を踏まえながらできたので良い経験になりました。ことフェスでは2位に入賞することができ非常にうれしかったです。その後のJAL

のスピーチコンテストでは入賞こそできませんでしたが、非常に良い機会でした。ことフェスは、第二外国語を懸命に勉強するものにとって、自分の実力を発揮できる場所なので、本当に素晴らしい経験だと思いました。

2.2 経営学部4年 韓国語

“I Have a Dream”

저의 이름은 ○○○ ○○○ 입니다. 잘 부탁드립니다.

저는 4 학년생이고 취업준비를 마쳤습니다. 제가 선택한 업계는 「음식업」였습니다. 「음식업」을 선택했다고 하기보다는 저의 꿈을 들어준 기업의 경영자의 이념에 공감하는 곳이 많았기 때문입니다.

그 기업은 제 꿈인 「해외 점포 사업」을 하고 있어 중국, 타이, 싱가포르에는 벌써 출점하고 있습니다. 그리고, 제가 출점하고 싶은 나라는 「한국」입니다. 「왜, 한국을 골랐는가」에 대한 이야기를 하겠습니다.

저는 작년 여름에 대학의 연수에 참가해 처음으로 한국에 갔습니다. 그전까지는 솔직히 한국에 대하여 그다지 좋은 이미지를 가지고 있지 않았습니니다.

연수에서 현지 대학생들과 역사박물관을 돌거나 쇼핑하러 다니면서 지금까지의 이미지가 확 바뀌었습니다.

학생들과 접하고 나서 생각한 것이 좋아하는 일본방송 가수, 이성의 이야기, 또 역사의 인식도 포함해서 「감각이 비슷하다」라고 하는 것이었습니다. 이야기하고 있으면 상대가 한국인이라고 하는 것을 잊어버릴 정도였습니다.

또, 인상적이었던 것이 안중근 기념관에 갔었을 때의 일입니다. 거기에서 선생님께서 안중근 동상에 대해 경의를 담아서 일례 하는 것을 보았을 때, 그리고 한국과 일본의 자손들이 그 장소에 모여 있다는 상황에 깊게 깨우친 것이 있습니다. 「무관심, 무지에서서의 편견은 무섭구나~」라고 생각했습니다. 「좀 더 거리를 좁힐 여지가 있다!」고 확신한 순간이기도 했습니다.

또, 학생들이나 거리의 사람들을 보고 생각한 것이 있습니다. 한국의 여성은 정신적으로 「강하다」라는 인상을 받았습니다. 또 그런 여성들을 육체적으로 강한 남성이 「지키고 있다」라고도 느꼈습니다. 이것은 제 편견일까요?

한국도 일본도 경제적으로 발전했습니다. 그 대신에 일본인이 잃어 버리고 있는 연장자에의 경의 가족을 소중히 하는 것 면학에 대한 자세 등도 새로이 깨닫게 되었습니다.

이상으로부터「한국」이라는 나라에 매력을 느끼게 되었습니다. 그리고 그런 한국에서 저는 제가 취직할 기업이 가진 이념을「이런 생각을 갖고 노력하는 기업이 있어요.」라고 진하는「나라와 나라 사이의 다리가」될 것입니다.

여러분! 앞으로도 서포트 잘 부탁드립니다. 참고로!

저는 동방신기의 창민을 좋아합니다. 언젠가, ○○○에 (←말해 버렸다! 笑)
동방신기를 초대해, 대등한 입장에서 이야기하고 싶다고 생각합니다. (笑)
감사합니다!!

私の名前は、○○○○です。よろしくお願いします。

私は4回生で、就職活動を終えました。私が選んだ業界は、「飲食業」でした。「飲食業」を選んだというよりは、私の夢を聞き入れてくれた企業で、経営者の理念に共感するところが多かったという理由です。

その企業は、私の夢である「海外店舗事業」をしていて、中国、タイ、シンガポールには、すでに出店しています。そして、私が出店したい国は、「韓国」です。「なぜ韓国を選んだのか」について、お話します。

私は、昨年の夏、大学の研修に参加し、初めて、韓国に行きました。それまでは、実は、韓国に対して、あまり良いイメージを持っていませんでした。

研修では、現地の大学生たちと歴史博物館巡りをしたり、買い物に行ったりして、今までのイメージが、ガラッと変わりました。

学生たちと接していて思ったのが、好きなテレビ、歌手、異性の話、歴史の認識も含め、「感覚が似ている」ということでした。話していると、相手が韓国人だということを忘れてしまうほどでした。

また、印象的だったのが、安重根記念館に行った時のことです。そこで、私たちの先生が、安重根碑に対して、敬意を込めて一礼されたのを見た時、そして韓国と日本の子孫たちが、その場に居合わせているという状況に、深く考えさせられるものがありました。

「無関心、無知ゆえの思い込みは、怖いな～」と思いました。「もっと距離を縮める余地がある!」と確信した瞬間でもありました。

また、学生たちや街の人たちを見ていて思ったことがあります。韓国の女性は、精神的に「強い」という印象を受けました。また、その女性を肉体的に強い男性が「守っている」とも感じました。これは、私の思い込みですか? (笑)

韓国も日本も経済的に発展しました。その代わり、日本人が失いかけている、年配者への敬意、家族を大切にすること、勉学に対する姿勢なども、改めて気付かせてもらいました。

以上のことから、「韓国」という国に魅力を感じるようになりました。そして、そんな韓国で、私は、私の企業が持つ理念を、「こんな想いを持って頑張っている企業があるんだよ。」と伝える、「国と国の懸け橋」になりたいと思っています。

皆さん！これからもサポートよろしくお願いします。ちなみに！

私は、東方神起のチャンミンが大好きです。いつか、〇〇〇〔会社名〕に！（←言っ
てしまいました。笑）東方神起を招いて、対等な立場でお話したいと考えています。
（笑）

ありがとうございました！！

〈感想〉

「有意義な時間を過ごした。」これが、一番の感想だ。個人的なことと言えば、出だし声が震えているのが分かった。そして、覚えたままを出力することに必死になっていた
ので、相手の心に訴えかけるところまで準備できなかったことが心残りだ。また、数か
月前までは、ハングルを記号としか捉えられなかった自分が、人前で韓国語を話してい
て、本当に韓国の人に伝わっているのか、自己満足ではないかと、疑問が残った。それ
と同時に、本場で試したくなった。つまり、留学して、もっと知識を深めたいと改めて
思った。

パートナーと練習している時、「日本に興味を持ち始めた頃からの経緯」を聞かせて
もらった。そこで感じたことは、私も含め「日本の学生は、先進国で生活しているわり
に、〈井の中の蛙〉」だと思った。「大学生活」というものの時間の捉え方に、いつも驚
かされる。

そんな中、今回のような機会も含め、諸外国への「歩み寄り」が、来年、再来年と盛
んに行われるであろう、後輩たちを羨ましくも思った。この場は、本当に必要な場であ
る。私自身、「暗記してスピーチをした」という面においては、「人は、やればできる」
を再認識でき、自信になった。また、自分の想いを公の場で発表できたことを嬉しく思
う。「こういう（それぞれの）想いを持った子たちが、いるのだよ。」ということ、留
学生はじめ、一般の学生たちにも聞いてもらいたいと強く思った。

貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。

2.3 留学生別科 日本語

「日本語の魅力」

私は留学生別科の〇〇〇です。とても真面目な学生なので、面白くないかもしれませんが、今日は「日本語の魅力」について、お話したいと思います。

中国の大学で英語を専攻している学生の多くが、第二外国語に日本語を履修します。皆さん、なぜかわかりますか？ 彼らは、日本語は漢字が多いし、単語の意味も中国語と似ているので、簡単だと思うからです。

日本語の助詞や敬語、動詞や形容詞の変化、日本語の語順は私を悩ませる最大の敵です。例えば、日本語の「私はお金がありません」という文は、中国語の文法の順番では「私はありませんお金」になります。ですから、中国人にとって日本語の勉強は決して簡単ではありません。また、中国語の中には、日本語と同じ単語でも意味が全く違うものがあります。「勉強」は中国語で何と言う意味だと思いますか？ 中国語では強制するという意味です。みなさんは無理に勉強していませんか？ お父さん、お母さんから強制的に勉強させられていませんか？ 日本語の文法について言うと、日本語の文法は韓国語の文法に似ていると言われます。日本語の文法が苦手な私は、韓国人がとても羨ましいです。でも韓国は漢字が使われなくなっているのです、韓国の若い人たちは漢字がわかりません。

このように考えると、日本にいる欧米人は一番大変ではないでしょうか。漢字も難しいし、文法も全く違います。でも、日本語には外来語がとても多いので、欧米人は抵抗なく勉強できると思います。母語によって日本語を勉強する時、比較的簡単なところと難しいところがあります。

ですから、私は世界のどの国の人にとっても、日本語の勉強は平等に楽しく、平等に大変だと思います。なぜなら、以上に述べたように、母語によって簡単なところもあれば、難しいところもあるからです。学習者にとって簡単な問題はモチベーションになり、難しい問題に出くわしたとき、それを乗り越えることで楽しさや嬉しさが感じられます。私はこれこそが日本語の魅力だと思います。

私のスピーチはこれで終わります。ご静聴頂きありがとうございます。

〈感想〉

ことばのフェスティバルに参加して楽しかったです。先生が紹介してくれたパートナーと知り合って、一緒にスピーチの内容を相談したり、原稿を直してもらったり、ス

ピーチの練習をしたりしました。

パートナーと友達になり、スピーチが終わってから、またたくさんの悩みごとやいろいろなことを相談しました。ことばのフェスティバルに参加したおかげでパートナーと出会い、嬉しいです。

スピーチの準備の時、日本語の能力が上がりました。このことばのフェスティバルに参加したため、人前で話す能力も鍛えられたし、友達もできました。これは私にとっていい経験です。機会があったらまた参加しようと思っています。

2.4 法学部3年 中国語

《〇〇式中文学习法》

大家好！今天我要演讲的题目是“〇〇式中文学习法”。

首先我要先谈谈我怎么背单词。我在难波等朋友的时候，蓝色、黄色、黑色、粉红色……我会在心里把每个人的衣服的颜色试着用中文去念。当不知道用中文怎么念的时候，就算让朋友等，我也要先查词典确认一下。这就是我对颜色的学习方法。所以现在已经没有我不知道怎么念的颜色了。可是这个方法在秋天或是冬天的时候就不管用了。你们知道为什么吗？因为大家几乎都穿一样颜色的衣服。

另外，一个星期里我会利用一天在家的时间只用中文说话。除了那天以外我会利用跟朋友聊天的时间尽量用知道的中文单字或句子去跟他们说话。因为我家人都不会中文，所以在家用中文的时候，一点儿都不想学汉语的家人都会问我“那是什么意思呢？”但是知道意思了又不会去记它。有时弟弟会很生气对我说，“你的中文太烂了。”听了以后，我总是会说“我又不是中文系的学生，我可是法律系的学生，中文只是我选修的第二外语，你应该要多多夸奖我才对啊？怎么还说我的中文很烂呢！”

可是最近母亲对我的中文有些反应了。比如说，因为我常常掉手机，所以在家的时间，我常常说“我的手机在哪儿？”母亲常听我说这句话，听习惯了，她会用日语告诉我，手机在哪儿。

还有我经常会把常用的东西的名字记在便利贴上，然后贴在家里的各个角落。每天看着看着，不知不觉中就记住了。可是我家人觉得这样不好。因为我弟弟说：“家里到处贴满一些不能理解的汉字会产生很多压力。”那时我想用中文反驳他，但是我的中文水平还不好，不知道怎么用中文反驳他。只好放弃，什么都不说了。

为了学习中文却给家人带来很多困扰，我觉得很不好意思。但是在这种环境下激起我对学习中文的热情。家人并不是真的讨厌我学习中文，他们认为我又在做一些奇怪的事

儿。反而期待我下一步要干什么。所以从今以后我要更加努力学习中文。在不久的将来我想出版一本能够畅销世界的“〇〇式中文学习法”之书。敬请大家期待。

我的演讲到此结束。谢谢大家的聆听。

「〇〇式中国語勉強法」

青色、黄色、黒、ピンク…。僕は難波で友人と待ち合わせている時、心の中では人々の服の色を中国語で発音してみます。中国語の分からない色があれば、友人を待たせてでも、辞書を引いて確認する。これが僕の色勉強法です。今ではわからない色はありません。

しかし、これは秋や冬には面白くありません。なぜだかわかりますか？ みんなほとんど同じ色の服だからです。

僕は家では週に1度は、中国語しか話さない日を作っています。他の日も、分かる単語やフレーズは出来るだけ中国語を使います。家族は誰も中国語が分からないので、僕が中国語で何か言うと、必ず“どういう意味？”と聞きますが、覚える気はなく、弟は“下手な中国語を喋るな”と怒っています。

なので僕はいつも“俺は法学部の学生で中国語は第二外国語で勉強しているんだからもっとほめて”と言います。

しかし最近、母が僕のある中国語には反応します。それは“俺の携帯どこ～？”です。僕はよく携帯をなくすので、何度も言っている間に覚えたらしく、いつも日本語でどこに携帯があるかを教えてくれます。

他には、僕の使う色々なものには中国語の名前が貼ってあります。それを毎日使いながら見ていると、覚えられるのです。しかし家族はあまりよく思っていません。弟は“訳の分からない漢字が家の中にいっぱいあってストレスがたまる”と言うので、僕が文句を中国語で言うと、諦めて何も言わなくなります。

僕は家族に色んな迷惑をかけつつ中国語を勉強しています。しかし家族は、本当に嫌がっているわけではなく、“またアイツ変なこと考えてるぞ”と、何をするか楽しみにしているのです。だから僕は、これからも工夫して中国語を覚え、上手になりたいと思います。

数年後に〇〇式勉強本が出せるように…。

〈感想〉

近畿大学のことばのフェスティバルに出たきっかけは、その直後に控えていたJALの中国語スピーチコンテストの練習のつもりでした。でも実際、練習時間が少なく、あまり上手く発表できず、残念でした。しかし自分の課題がわかり、他の人のスピーチを見て、次に生かそうと思いました。ことばのフェスティバル後、先生に、「もっと出来たやろ」と言われて、それから猛練習し、スピーチコンテストは自分でとても満足のいく内容となりました。それはことばのフェスティバルでの経験があったからだと思いません。

ことばのフェスティバルに参加したことで、語学だけでなく様々なことを学ぶよい機会になりました。次回も挑戦したいと思います。

2.5 文芸学部3年 ドイツ語

“Mein Traum”

Habt ihr alle einen Traum? Mein Traum ist es, Englisch Lehrer zu werden. Dafür gibt es zwei Gründe. Über diese Gründe möchte ich heute gerne reden.

Erstens mag ich es, mich in der Schule aufzuhalten. Man kann viele Erfahrungen sammeln und man selbst wächst menschlich durch die vielen Beziehungen, die man dort führt. An solch einem Ort möchte ich arbeiten und so etwas wie einen Platz erschaffen, an dem jeder frei sein kann.

Der zweite Grund ist, dass ich die englische Sprache liebe. Wenn ich es schaffe, perfekt Englisch sprechen zu können, kann ich mit Menschen aus der ganzen Welt kommunizieren und mein Horizont Erfahrungen erweitert sich noch mehr. Ich will das, was ich selber gefühlt und gelernt habe, an meine Schüler weitergeben.

Am Ende wird mein Traum real. Ich bitte euch, egal wie klein er auch ist, findet euren Traum und macht ihn wahr.

「私の夢」

みなさんには夢がありますか？ 私の夢は英語の教師になることです。私が英語の教師を目指したのには二つの理由があります。今からそれをみなさんにお話ししたいと思います。

まず一つ目の理由としては、大好きだということです。学校にはたくさんの友達や先

生がいて、いろんな話を聞いたり話したりすることができます。休み時間には外に出てたくさん遊びをみんなですることができます。クラス全員で協力し合って花を育てたりウサギの飼育をしたりもします。時には友達とけんかをしたりすることもあります。仲直りをするたびに仲を深めることができます。つまり学校ではいろんな経験ができるのです。そして人間的にとっても成長できます。私はそんな学校という場所で、生徒一人ひとりに「居場所」を作ってあげたいと考えています。

二つ目の理由としては、英語が大好きだということです。私は小さいころから勉強が大好きでした。知識がだんだんと身についていくことが楽しいと感じていたからです。しかしそんな私が唯一嫌いだったのが英語の勉強です。英語はすごく難しく感じたし、私は「日本人は日本語だけ話すことができれば十分だ」と考えていました。そんな考えを持っていたので英語はあまり勉強せず、授業にもついていけなくなっていました。しかしある春の日、地元の駅で花見をしにきた外国の人に道を尋ねられました。もちろん私は何も答えることができませんでした。そのときに初めて、英語を勉強しておけばよかったとすごく後悔しました。その時から少しずつ英語を勉強するようになっていきました。英語を話せるようになると、違う国の人たちともコミュニケーションがとれるようになるし、今よりももっと視野が広がって、いいこと尽くしだと思ったからです。最初はわからないことだらけで、何度も挫折しそうになりましたが、わからないところを先生が丁寧に教えてくださったおかげで、だんだん英語ができるようになっていきました。英語が得意科目になると、知らない間に英語が大好きになっていました。

私の夢は英語の教師になることです。身をもって感じた英語を学ぶことの楽しさを生徒に伝え、そして学校に生徒の居場所を作ってあげたいです。

最後になりましたが、「夢」は生きる力になります。みなさんも小さくてもいいので自分自身の「夢」を見つけてください！

2.6 文芸学部1年 韓国語

「韓国への愛」

(ドラマのセリフ)

이것이 제가 제일 처음으로 외웠던 한국드라마의 대사인데요, 제가 한국을 처음 접하게 된 것은 바로 한국 드라마를 통해서였습니다. 중학교 3학년때 엄마와 분 '겨울 연가'를 시작으로, 거의 매일같이 한국 드라마를 보다시피 했었는데, 그 후로는 일본의 드라

まな 버라이어티도 눈에 안 들어와서, 친구들의 대화에 잘 끼지도 못하곤 했습니다. 그림에도 불구하고, 한국 드라마가 너무 좋아 끊을 수가 없었습니다. 물론 지금도 한국에 대한 열의는 식지 않았답니다.

얼마전에는, 처음으로 쓰루하시에 갔었는데, 온 사방이 한국말 천지라 흥분을 감출 수가 없었습니다. 한국말을 직접 듣고 있는 것만으로도, 마치 한국에 온 것 같은 기분에 정말 날아갈 뻔했어요. 김치가게 아주머니께 얼마나 '아지메!'라고 불러보고 싶었던지... 이 부분은 다음에 또 도전해볼거구요.

지금 학교에서 한국말을 배우고 있는것도 너무나 재미있게 즐기며 배우고 있습니다. 일단 지금 저의 목표는 한국말로 대화가 가능해지는 것입니다. 그래서 한국분과 실제로 이야기를 나누어 보고 싶어요. 그리고 장래에는 어떤 일이라도 좋으니 한국과 관련된 일을 하고 싶습니다.

한국 드라마, 아주 그냥 ~ 죽여줘요 ~!!

(ドラマのセリフ)

これは私が一番最初に覚えた大好きな韓国ドラマのセリフです。韓国との出会いはまさに韓国ドラマでした。中学3年生のときにお母さんと冬のソナタを見たことがきっかけです。そこから毎日のように韓国ドラマを見続けました。そのときに日本のドラマや日本のバラエティーも見ることが少なくなり、友達の会話にもついていけなくなりましたね。それでも私はドラマに夢中になり、もう自分がとめられなかったのです。そして、今でも私の韓国への熱意は変わりません。

この前、初めて鶴橋に行きました。韓国語が飛び交う鶴橋は私のテンションをさらに上げました。本場の生の韓国語を聞いてるだけで気持ちが高まりました。キムチを売ってるおばちゃんにどれだけ、“アジュンマ!”と言いたかったか。今度またチャレンジしてみます。

今私は学校で韓国語の勉強をしています。もう楽しくて楽しくて仕方ありません。やはり私の目標は韓国語を話せるようになることです。そしてネイティブの韓国人の方と、韓国語で話してみたいです。将来は、どんな形でもいいので韓国と関わる仕事をしたいです。

〈感想〉

私は韓国語でことばのフェスティバルに参加しました。まだ韓国語の学習も6ヶ月で

した。でもしゃべりたい！話したい！というこの気持ちだけで、やる気さえあればどんなことでもチャレンジできるんだと改めて思います。

私のパートナーは同じ学科の韓国人の友達でした。原稿を訳してもらい、最初にパートナーの友達にその原稿を読んでもらいました。正直、そのスラスラと話される韓国語を聞いて「無理やん」って思ってしまった。「こんなんしゃべれるようになるん？」ってちょっと焦りました。でも出来たら格好いい！絶対しゃべりたい！って思って、一生懸命練習しました。

私が本番までどうやって練習してきたかは、今後の韓国語の勉強、それだけにとどまらずその他の語学の勉強にも役立つと思います。

まずパートナーにスピーチを読んでもらい、その声を携帯の録音機に録音しました。ひたすら通学中や、昼休みや、下校中に聞きました。そして声が出せる場所で、一文ずつ聞いて止めて話す、聞いて止めて話すの繰り返しを続けました。私の練習法はそれだけです。

文法など詳しい勉強はしてませんが、今でもスピーチの内容は韓国語で話せます。いつか難しい文法などを勉強するときにも頭に残っているスピーチは役立つと思います。今後の韓国語の勉強にも活かしていけると思うし、何よりも自分に自信ができました。ことばのフェスティバルに参加出来たことは私にとって韓国語を勉強する上で大きな第一歩でした。

また機会があれば参加したいと思います。

2.7 文芸学部1年 中国語

《吃饭了吗？给我的启示》

大家好！我叫○○○○。我是文艺系中文科一年级的学生。

“吃饭了吗？”翻译成日语，是“ご飯食べましたか？”大家认为这句话是什么意思呢？

对于没学过中文的人来说，这句话只能从字面上来看，就是说认为它仅仅是在询问对方有没有吃饭而已。不过，这句话并不是真的想问对方有没有吃饭，而是中文中一般的寒暄语。

说起这个寒暄语，从前中国还很贫穷的时候，如果遇到了吃不饱的人，就会招待他到家里吃饭。这就体现了中国文化中的博爱精神。当我学了这句寒暄的时候，我认为这是“没有吃饭就没有精神”的意思，是在委婉地询问对方是否好吗？知道它真正的意思之后，

我认为这句话非常好。当时我想，如果有机会，我一定用这句话来和中国人打招呼。可是，听说年轻人现在并不常用这个寒暄语。也许是因为现在已经没有人因吃不饱而烦恼了吧。在日语中没有这么好的寒暄语，我觉得很遗憾。

听说最近年轻人在见面的时候，多用“去哪里？”“最近怎么样？”来打招呼。大家有没有发现中文多用疑问句来作寒暄语呢？这些都是朋友之间一般的打招呼方式，而不是真的在问对方怎么样。我看这些疑问式的寒暄语中包含了中国人为对方着想的诚意。

我大概半年前开始接触中文，每当学到新的词语和文化差异，我都会感到非常新鲜。每次我都感到自己一直生活在非常狭窄的世界里。因此，我想要更加努力开拓自己的眼界。

将来，有机会的话，我想在海外工作。中国有一句话叫“入乡随俗”。如果我离开日本到外国工作，必须了解和接受当地的风俗习惯。所以我下定决心，要在大学的4年同学习更多这方面的知识，实现自己的梦想。

我的演讲到此结束。谢谢大家。

「ご飯食べた？から広がる私の世界」

みなさんこんにちは。私は〇〇〇〇です。文芸学部の中国語コース1回生です。

“吃饭了吗？”を日本語にすると“ご飯食べた？”ですが、いったいこの文章にはどういう意味があると思いますか？この和訳だけを聞くと、中国語を学んだことがない人は、ただ相手にご飯を食べたかどうかを尋ねていると思うでしょう。しかし実はこの文章、ご飯を食べたかどうかを聞きたいわけではないのです。なんと実は、これが中国語のごく一般的な挨拶なのです。

どうやらこの挨拶は、昔、中国が貧しかった頃、博愛主義的精神でお腹をすかした人がいれば家に呼んでご飯を食べさせていたことによるものらしいです。私がこの挨拶を知ったときは、（ご飯をたべないと元気がでないから、遠まわしに元気かどうかを尋ねているのではないか）と思ったのですが、本当の意味を知ったとき、以前に増して中国語が素敵だと感じ、中国の人と話をする機会があったらぜひ、この挨拶を使おう！と思っていました。しかし、聞くところによると、今現在この“吃饭了吗？”は、特に若者の間では、使われることがほとんどないようです。おそらく、食べ物には困らない世の中になったからでしょう。日本語の表現にはない、とても素敵な挨拶だと思ったので、私は残念だなあと思いました。

ちなみに、最近の若者は挨拶として“どこ行くの？”や、“最近どう？”と尋ねるこ

とが多いそうです。疑問文が多いなあと感じませんか？ これらも、本当に答えが必要で質問しているわけではなく、ふつうの友達同士の挨拶らしいのですが、私は、疑問文にすることでどこか相手を思いやるという中国人の優しい気持ちを感じました。

私は中国語を学び始めてからまだ半年程度しかたっていないので、新しいことを教わっては言葉や文化の違いについて驚きの連続です。そのたびに私は、今までの自分は、とても狭い世界で生きてきたのだと感じます。そしてもっと自分の世界を広くしたいと思うようになりました。

だからわたしは今、将来は海外で働きたいなあと思っています。もし日本を出て働くのなら、郷に入っては郷に従えというように、その土地の風俗や習慣をも知らなければなりません。だから私は、この大学生活でそれらについても学び、将来は夢を実現したいと思います。

以上で終わります。ご清聴ありがとうございました。

〈感想〉

大家好！我叫○○○○。私は、このことばのフェスティバルにでる2週間ほど前から、何度この文章から始まるスピーチを練習したことでしよう。

事の発端は、先生が「でてみない？」と誘ってくださったことです。私は最初、とんでもない！と思いました。中国語を学び始めて、まだ半年足らず。スピーチなんて、絶対できない！と。でも、「留学生を紹介するよ！」先生のその一言で、私は勇気を出して、出る決心をしました。

台湾という国が大好きで、中国語コースに入学した私。将来は、台湾で働けたらいいなあ、とさえ思っています。だから私は出来るだけ中国人や台湾人の友達が欲しかったのです。

留学生のパートナーに助けてもらいながら、ことばのフェスティバルに向けて準備する毎日は、とても楽しかったです。そして彼女たちの日本語はとても上手で、私も中国語をもっと頑張ろう！と、とても刺激ももらいました。

あっという間に、ことばのフェスティバル当日がきて、あっという間に、自分の順番が回ってきました。緊張してしまって、スピーチは、練習どおりとはいきませんでしたが、最後までやり遂げることが出来たので、満足しています。

自分の番が終わって、ふ～っと息をはいたとき、それまでの約1ヶ月間を思い出しました。しんどいと思ったこともあったけど、心の底から、出てよかったなあと思えまし

た。

また、フェスティバルではふだんあまり耳にすることのない、ドイツ語や韓国語、さらにはタイ語まで聞くことが出来て、本当に楽しいひと時でした。

このことばのフェスティバルで得たもの。それは「少しばかりの自信」、「これからの中国語に対する心意気」、「新たな目標」そして、「大切な友達」。今回パートナーになってくれた留学生とは一生付き合っていけたらいいなあと思います。本当に出会えてよかったです。ほんの少しの勇気、行動がこんなにもたくさんのを、私にくれました。おまけに特別賞という結果もついてきてくれて、とても嬉しかったです。きっと必ずこれから先、今回の経験は役立ってくれると思います。

今は誘ってくださった先生や、パートナーの留学生、応援してくれた友達・家族に感謝でいっぱいです。ありがとうございました。

2.8 理工学部2年 タイ語

「タイでの経験」

ตอนที่ผมไปประเทศไทย ผมเรียนอยู่ชั้น ม.5

นั่นเป็นครั้งแรกที่ผมได้รับประสบการณ์

ในฐานะที่เป็นชาวต่างชาติ

ตอนที่ผมได้ยืมภาษาไทย ผมไม่เข้าใจเลย

แต่เสียงที่คนไทยขบพูดว่า “คะ , ครีบ ”

ยังคงติดหูผมมาถึงตอนนี้

ผมไปเรียนที่เชียงใหม่

เชียงใหม่เป็นเมืองใหญ่อันดับสองของไทย

และเป็นเมืองที่สวยงาม ดังนั้น ทุกคนจึงเรียกเชียงใหม่ว่า

“ ดอกกุหลาบแห่งภาคเหนือ ”

เพื่อนที่ผมพบในตอนนั้น ตอนที่ทุกคนเป็นนักศึกษาแล้ว

ผมมีเพื่อนที่พูดได้ 4 ภาษา มี ภาษาไทย ภาษาอังกฤษ ภาษาญี่ปุ่น

และภาษาจีน เขาเรียนภาษาต่างประเทศด้วยตัวเอง

มหาวิทยาลัยเชียงใหม่ใหญ่มาก ตอนที่พบเห็นครั้งแรก

ผมตกใจมาก

เมื่อเดือนสิงหาคม ผมไปอยู่ที่เชียงใหม่สามอาทิตย์

ได้เรียนรู้สิ่งต่างๆมากมาย เช่น การใช้ชีวิตของคนทั่วไป

และวัฒนธรรม เป็นต้น

เมื่อปี2007คนไทยสร้างสวนดอกไม้ใหญ่ที่จังหวัดเชียงใหม่
เพื่อถวายในหลวง สวนนั้นสวยและใหญ่มาก

แต่ตอนนี้ไม่ค่อยมีคนไปเที่ยว

ผมถามเพื่อนว่า ทำไมคนไทยใช้เงินมากมายสร้างสวนนี้

ทำไมไม่เอาเงินไปใช้ทำอย่างอื่น เพื่อนผมบอกว่า

สวนนี้ไม่ได้ใช้เงินของประเทศไทยทั้งหมด ยังมีประเทศอื่นๆ

ที่มาช่วยสร้างสวนนี้ โดยใช้เงินของประเทศตัวเองด้วย

ผมถามอีกว่า ทำไมคนไทยและประเทศอื่นๆมาร่วมกันสร้างสวนนี้

เพื่อนผมบอกว่า เพราะว่าในหลวงเป็นคนดี ทุกคนรักในหลวง

จึงอยากสร้างสวนนี้เป็นของขวัญให้ในหลวง

ผมไม่ค่อยเข้าใจวัฒนธรรมไทย

จึงรู้สึกเสียใจที่ถามคำถามที่เสียมารยาทแบบนั้นออกไป

แต่ละประเทศ มีวัฒนธรรมที่แตกต่าง และมีวิถีคิดที่ไม่เหมือนกัน

การเรียนภาษาต่างประเทศทำให้เราได้เรียนรู้วัฒนธรรมต่างประเทศ

และได้เข้าใจวิถีคิดของคนต่างชาติด้วย ผมจึงคิดว่า

การเรียนภาษาต่างประเทศเป็นสิ่งสำคัญ

คุณและเห็นด้วยกับผมมั๊ยครับ

チェンマイを初めて訪ねたのが高校2年生の時。

初めての海外、外国人になってとても新鮮さを感じました。

現地に着き、初めて聞いたタイ語は全然分からなかったけど、タイ語の響きは今も忘れていません。

チェンマイはタイの第2都市であり、とても綺麗で北のバラと言われています。

その時出会った友達も、今はチェンマイ大学の大学生となっています。

中には英語、日本語、中国語を自分で勉強し、タイ語もあわせ、4ヶ国語も話すことができる友達もいます。

またチェンマイ大学はとても広く、僕も初めて行った時すごく驚きました。

今年の8月にチェンマイに行き、現地の生活や文化を知りました。

2007年、タイ人はチェンマイに、庭を王様の為に造りました。

しかし現在、地元の人あまり行かず、園内には人が少ないです。

「このような綺麗な庭を造るお金があるのに、何で他の事にお金を使わないの？」と友達に尋ねました。

「この庭の全体をタイのお金だけで造ったのではなく、世界中から色々な国が参加して造り、玉様に差し上げました。なぜなら、タイ人は玉様が一番大事」だと僕に伝えました。

僕はタイの文化を少ししか知らず、凄く失礼な質問をしたと反省しました。

国によって、文化も違い、考え方も違います。

外国語を学ぶ上でほか国の文化も学ぶことができます。また、考え方も学ぶことができます。そのため僕は外国語を学ぶことは大切だと思います。

あなたもそう思いますか？

〈感想〉

スピーチコンテストに参加し、タイ語の色々な表現や新たに知る文法、凄く勉強になりました。タイ語の文書を作成してタイ人に見せると、意味は分かるけどニュアンスが違うなど、日常会話と公会話の違いや、完璧な文法で話すことの難しさを感じました。決められた期限があり時間にせめられながらも、楽しみながらタイ語を勉強でき、発表するまでの過程がとても濃いものでした。

タイ語の原稿を準備する際に、日本語→タイ語→日本語としたので、タイ語独特の表現を日本語に訳すといった作業もし、何て自分は国語力が無いのかも思い知らされました。

発表前より現在では、話せる構文が多くなったので、単語の入れ替えで様々な表現を言えるようになり、タイ人とのコミュニケーションが以前より楽しくなりました。

人前でタイ語を発表するといったことが全くなかったので、スピーチコンテストの機会を与えてもらった事に、感謝の気持ちで一杯です。

2.9 経済学部3年 ドイツ語

„Über Geographie“

Heute möchte ich über Geographie sprechen.

Ich habe früher gedacht, dass Geographie nicht so spannend ist, aber ich wollte es mir genauer darüber lernen.

Um Geographie zu lernen, muss man nicht nur die Namen der Länder kennen,

sondern es ist auch nötig über geschichtlichen, wirtschaftlichen und politischen Hintergrund bescheid zu wissen.

Ohne dieses Wissen ist es nicht möglich, das Fach Geographie zu studieren.

Ich habe gemerkt, dass es ein weites Feld an Informationen benötigt.

Während ich über Geographie lerne, habe ich Interesse an Deutsch entwickelt und lerne jetzt auch die deutsche Sprache.

Dadurch dass ich Geographie angefangen habe zu studieren, habe ich Interesse an so vielen anderen Dingen entwickelt und das ist etwas sehr wichtiges, wie ich finde.

Damals hätte ich nie gedacht, wie spannend es sein kann, über Geographie zu lernen, aber jetzt weiß ich, dass es der richtige Weg war.

「地理で学んだこと」

僕は地理を学ぶことにより得たことを話します。中学生の頃、地理はそれ程、得意な科目ではなく歴史のほうが得意でした。高校では、理数科系の学科に進みました。しかし得意な世界史や日本史といった歴史の科目を取れなかったため、地理を取るようになりました。それまで地理に対するイメージは、世界史や政治経済と比べるとスケールが小さく見劣りがして、知名度が低く話題にも上がらず、地味でパツとしないと考えていました。

しかし詳しく勉強してみると、地理は歴史や政治経済、地学、数学といった他の分野まで足を踏み入れなければならない事ばかりで、今まで抱いていた地理のイメージが変わりました。地理は国の名前と文化と地図記号を覚えるだけではなく、他の学問の知識により成り立っていて、一言に地理と言っても、その範囲はかなり広いことがわかりました。例えば中世に描かれた地図の見方を勉強したり、中国の政治体制に関する勉強や、地震の起こるメカニズムの勉強や、中世ドイツの農業の勉強など様々です。さらに縮尺図の距離を求める計算と国と国の時差を求める計算には数学の知識を使い、歴史的な事件が起こった国の勉強は世界史の知識を使うなど、他の科目の知識も必要になります。このような科目なので自然と他の科目の知識が身に付きました。他には地理独自の知識として、ある国の文化や宗教、民族、言語、政治体制、歴史など細かい点にまで関係しています。

大学では経済学部へ進学し、国際経済学を専攻し、地理を勉強していてドイツに興味を持ったのでドイツ語を学んでいます。特にゼミでは東南アジア経済を受講しています

が、専門分野の勉強だけでなく他の分野にも興味をもつことが大切だということが、地理を学ぶ事を通してわかりました。このような事を勉強していくうちに「こんな国があるのか」と思い、自分の世界観を広げる上で役立ち、ニュースや新聞で取り上げられる国際情勢や国際政治に興味を持つことができました。

2. 10 経営学部2年 中国語

「私と中国語」

大家好。我是经营学部的○○○○。

今天我要演讲的题目是中文与我。

因为我很喜欢台湾的偶像团体「飞轮海」，所以想要认真学好中文。

有天晚上我看了日本深夜播出的台湾偶像剧「公主小妹」。我很喜欢剧里的男主角，之后知道他是「飞轮海」的成员，才渐渐开始喜欢上这个团体。偶像剧播完后我还上网找了他们的相关影片，真的觉得他们很帅，所以开始支持他们。

然后，我为了想要听懂他们说的事，便开始认真学习中文。

并且为了取得中文检定，我也增加了中文课的时数。一开始只是为了学校的学分而学中文，不过现在有了新的动力，让我每次上中文课都觉得很开心。

另外，我打算明年二月去台湾留学，认识台湾朋友。不但可以学习中文和台湾文化，还想去看看许多的摊贩和夜市。

现在我学习中文的目标是，希望有一天我可以在卡拉OK完整的唱出「飞轮海」的歌。

最后，我非常推荐台湾偶像剧「公主小妹」希望大家有机会一定要看一次。

感谢大家的聆听，谢谢。

みなさまこんにちは。経営学部の○○○○です。

今日は、私と中国語についてお話しします。

私が中国語を真剣に学びたいと思ったのは、台湾のアイドルである『飛輪海』を好きになったからです。

私が『飛輪海』を知ったきっかけは、日本で深夜に放送していた『ろまんす五段活用(公主小妹)』というドラマを見たのがきっかけです。私は、そのドラマの主役を演じていた俳優を好きになり、『飛輪海』のメンバーだということを知りました。私は、ドラマの放送が終わったあとも、彼らの動画やドラマを見てカッコいいと思い『飛輪海』をとて応援したいと思うようになりました。

さらに、彼らが話していることを少しでも分かるようになりたいと思い、中国語を真剣に学びたいと思いました。

それから、中国語の資格を取るために勉強したり、中国語の授業を増やしたりと、生活の中で中国語を学ぶ時間が増えて行きました。単位のために始めた中国語でしたが、今では中国語を学ぶたびに一つ一つが新鮮で、楽しく学んでいます。

また、私は2月に台湾へ留学するつもりです。台湾では、友達を作り、言葉や文化を学ぶだけでなく、屋台や市場などに行ってみたいです。

今の私の中国語に対する目標は、「飛輪海の歌をカラオケで完璧に歌えるようになること」です。

最後に、ドラマ『公主小妹』はおすすめのドラマなので、皆さんもぜひ一度見てみてください。

ご静聴ありがとうございました。

〈感想〉

私がことばのフェスティバルに参加しようと思った理由は、中国語を習う場はあっても話す場が少ないということ、発表した内容の一部分をいつか使えるかもしれないと思ったからです。ことばのフェスティバルは、今習っていることを少しでも話すことが出来るぴったりの場だと思いました。発表練習時には、とにかく発音に注意しました。発音が間違っているところは何度も練習し、自分にしみ込ませる気持ちで練習しました。発表時は、緊張して前に立った瞬間、覚えていた原稿が全部飛んでしまい、何回も原稿を見てしまいましたが、それもいい経験になったと思います。ほかの方の発表を聞いているとき、私ももっと頑張って勉強しようという前向きな気持ちになりました。ことばのフェスティバルは、すごくいい経験になったし、中国語へのやる気も強くさせてくれました。参加してとても良かったです。

2. 11 文芸学部 3年 韓国語

「韓国留学体験」

안녕하세요. 저는 문예학부 예술학과 삼학년 ○○○○ ○○○○ 입니다.

이번 여름방학을 이용해서 이개월간 연세대학교로 어학연수를 갔다왔습니다

저는 제이언어로서 한국말을 배우고 있지만, 더욱 회화력을 늘리고 싶어서 이번 유학을 결심하였습니다.

이번처럼 혼자서, 더구나 패리로 간 것은 처음이었어요.

첫날부터 즐거운 만남이 있었어요. 같은 선실에 있던 사람과는 첫 대면이었지만 금방 사이좋게 되어 한국어와 일본어로 새벽까지 많은 이야기를 나누었어요. 그날은 제대로 건지도 못 했어요.

연세 대학교 어학당은 여러 나라에서 한국어를 배우고 싶다는 공통된 목적으로 모였기 때문에 화기에애한 분위기였습니다. 또한 세계 공통의 술 모임을 통하여 더욱 친하게 사이 좋게 되었습니다.

항상 한국어를 써야 하기 때문에 전하고 싶은 말이 잘 전달되지 않아서 안타까웠지만, 이 안타까움이 제 한국어에 대한 열정에 불을 붙여주었다고 생각합니다.

한국에 있을 때는 많은 체험을 하려고 혼자서 많이 다녔습니다.

삼일간 계속해서 자장면을 먹으러 가기도 했습니다.

여러분은 자장면을 아세요?

자장면은 검은 스파게티 같은 것인데 정말 맛이 최고예요.

그 밖에도 미술관이나 슈퍼에는 주부처럼 배일 가기도 했습니다.

일주일에 두번은 현지의 친구들과 테니스도 했습니다. 그리고, 무엇보다도 결혼식에도 참가하여 행복도 받아왔어요.

많은 만남이 있었어요. 그 덕분에 저는 한국어를 조금 더 잘하게 되었어요. 한국의 여러분 정말 감사합니다.

또 기회가 있다면 더 길게 많은 곳에 가 보고 싶습니다.

여러분 저와 같이 가시겠습니까? 감사합니다.

こんにちは。文芸学部、芸術学科、3回生の〇〇〇〇といます。

私は今回の夏休みを利用して、2ヶ月間韓国の延世大学へ語学留学に行ってきました。

私は、第二言語として韓国語を学びはじめ、もっと会話力をつけたいと思い、今回留学を志望しました。

今回一人で、しかもフェリーで行くのは初めてでした。

さっそく初日から、様々な出会いが待っていて、船で同じ部屋になった韓国人の姉さんや日本人の大学生など、みんな初対面ながらも、すぐに仲良くなり、韓国語や日本語を交えて明け方まで語り合いました。さすがに次の日は、足元が危うかったです。

延世大学の語学堂では、いろんな国から、韓国語を学びたいという共通の目的で集

まった人たちだったため、和気藹々とした雰囲気でしたが、やっぱりそこは世界共通、飲み会を通してさらに仲良くなりました。

意思疎通を韓国語で行わなければいけないため、伝えたい事がうまく伝わらない歯がゆさがありましたが、その歯がゆさが、私の韓国語に対する情熱に火をつけてくれたと思います。

韓国にいる間はさまざまな体験をしようと一人でよく出かけました。

今回は3日連続一人でジャジャン麺も食べに行きました。

みなさん、ジャジャン麺てわかりますか？

それは黒いスパゲッティーのようなもので、とてもおいしく最高です！

他にも美術館に行ったり、スーパーには主婦なみに毎日行きました。

一週間に2回テニスもし、初めて結婚式にも参加し、幸せももらってきました。

週2回は、現地の友達が通うテニスサークルにも参加し、2ヶ月間、本当に充実した日々でした。

たくさんのお会いがありました。このおかげで私の韓国語の向上につながりました。

韓国のみなさんありがとうございました。

また機会があれば、次はもっと長く、いろんなところに滞在したいと思います。

皆さんも旅行、一緒にいかがでしょうか？

カムサハムニダ

〈感想〉

今回ことばのフェスティバルに参加して、大勢の人の前で外国語を使いスピーチするという貴重な経験をすることが出来ました。

一般教養の第二言語として韓国語を選択しており、その授業を通して今回のフェスティバル参加の機会を得ることができました。発表は苦手ですが、自分を試すいい機会だと思い、参加を決意しました。発表までの準備は思った以上に時間がかかりました。まず日本語で発表文を作成し、それを韓国語に訳すという作業を行いました。思い通りに翻訳が出来ず、何度も修正を繰り返しました。発表まで残された時間も少なく、翻訳を手伝ってくれる留学生の方とも十分な時間をとれず、ほぼ自身で翻訳を行いました。その後発表まで、スピーチ文を呪文のようにひたすら一人で音読を行いました。しかしざ本番となると、やはり緊張のあまりに頭の中が真っ白になりそうになりましたが、なんとか無事に終わることができ、特別賞まで受賞することができました。

夏休みを利用し短期留学を実現させただけでなく、それをさらにスピーチという機会にまで発展させることができたという面でも、貴重な体験だったと思います。

2. 12 文芸学部3年 ドイツ語

„Das echte Lachen“

Ich heie ○○○○. Ich studiere Bhnen Kunst. Ich lerne Deutsch drei Jahre. Ich mchte zuerst Deutschland nicht, aber jetzt mag ich Deutschland und ich will nach Deutschland reisen. Heute spreche ich auf Deutsch darber, was ich heutzutage gedacht habe. In der Stadt sehe ich traurige Menschen. Ich stelle Ihnen eine Frage.

ber was lachst du in letzter Zeit ? Wenn wir erwachsen sind, lcheln wir um dem Gegenber freundlich entgegen zu kommen. Das ist fr mich nicht schn anzusehen. Es ist als ob man sich selbst belgen wrde. Aber Babys kennen solche Lgen nicht. Sobald wir aber erwachsen sind, lernen wir unsere Gefhle zu unterdrcken. Das ist aber falsch. Man sollte seinen Gefhlen freien Lauf lassen.

Jedoch in traurigen Zeiten sollte man nicht noch trauriger sein, sondern im Herzen lachen.

Zum Schluss mchte ich euch zeigen, wie man lacht. Schieb einfach die Mundwinkel mit den Fingern hoch.

Ein Lcheln erhellt jeden Tag, denn egal wie dunkel der Tag auch ist, wer lchelt gewinnt.

Vielen Dank.

「本当の笑顔」

こんにちは。舞台芸術を専攻している○○○○です。ドイツ語を学んで3年になります。最初はドイツがあまり好きではありませんでした。しかしドイツ語を学ぶにつれドイツがとても好きになり、今では早くドイツを旅したい気持ちでいっぱいです。

今日はそんなドイツ語で、最近思ったことを話します。

街を歩いていると、暗い顔の人や、怒っているような顔の人を見かけます。日が沈むと動物が眠るように、暗い所には楽しい事が起こらないと思います。

では、みなさんに聞きます。最近、何について笑いましたか？ 私たちは成長すると、ウソの笑いをするようになります。それは、私にとって見苦しいことです。それは、

自分にウソをついていることと同じだからです。しかし、赤ちゃんはそんなウソの笑いを知りません。成長し、色々なことを学ぶと、自分の気持ちを抑えるようになるのです。それではダメです。自分の気持ちは自由に表現するべきです。けれども、悲しい時は悲しい顔をしないで、むしろ、心の中を笑顔にしてください。

最後に笑顔の作り方を教えたいと思います。とても簡単です。指で口の端を持ち上げるだけです。暗い日でも、みんなが笑顔になると、笑顔は日々を明るくしてくれるでしょう。

御清聴ありがとうございました。

〈感想〉

「出る事に意味がある」と心から感じたフェスティバルでした。日本語と違う文法で文を作る事、私の文に合った単語を選ぶ事は大変でもあり、服を選ぶようで楽しくもありました。なぜなら私が好きな言語だからです。

留学生と知り合い、その国の話を聞く事もできました。このフェスティバルに出た事で、言語力、やる気などが確実に増しました。覚える作業は独自の方法を生み出し、友達に癒してもらいながらしました。お蔭で落ち着いて発表する事ができました。

これまで中国語と韓国語の違いが分かりませんでした。中国語はかわいい音で、韓国語は中国語より重い響きをするという、新しい発見をしました。他にタイ語も開けたし、何より留学生の日本語の素晴らしさには驚き、私も負けていけないと思いました。

絶えず応援してくださった先生、留学生、友達、全ての人に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

2. 13 経営学部 1年 日本語

「好きこそものの上手なれ」

みなさん、こんにちは。私は経営学部キャリアマネジメント学科1年生の〇〇〇と申します。今日は、私と日本語についてお話したいと思います。

私は2007年の10月に来日して、もう今月で2年2ヶ月目になります。まだ日本語はそれほどうまくありませんが、喋れるようになるまでどんな努力をしているか、どんな練習をしているかについてお話したいと思います。

最初に言いますが、何をやるにも、楽しむ、ということが一番だとお伝えしたいです。

私が2007年の10月、日本に来たばかりのころはひらがなさえ書けず読めずで、大変でした。外に出れば、耳に日本語が目にも日本語が入ってきて、全然聞き取れなくて、もやもやすることが多かったです。駅に行ってもアナウンスが何を言っているのか分からないし、新聞やテレビなども写真などを頼りにしないと理解することができませんでした。

今、考えてみれば当然のことでしたが、当時の私は、日本語が全然聞き取れない、全然読めない自分自身のことが、もどかしかったです。

そんな時、ある日本語ボランティアに入る機会がありました。そこは日本人のボランティアが外国人に日本語を教えているところで、クラスレッスンの他にもBBQやキャンプなどイベントがたくさんあって、友達もつくることができました。プライベートでたくさん遊びに行ったり、楽しいことが盛りだくさんのボランティアでした。

ここでは日本語を勉強するというより、日本語を自然に吸収していく感覚を覚えました。やはり、楽しんで覚えるということが、心にも負担なく、自分らしく成長できる重要なエッセンスなのだと、思いました。これが一つ日の、好きこそもの上手なれです。もちろん、楽しむだけではありません。

日本語ネイティブの人が話していて、聞いたことがない単語はすべてこっそり携帯に打ち込んで、家に帰って辞書で調べました。会話を止めることが嫌だったので、その場の空気を覚えて、後でその言葉の意味を把握していきました。約一年半で携帯に打ち込んだ単語は、2000語にも至りました。

でも、この作業は私にとって全く苦になりませんでした。1語覚えれば、また一つ知識が増え、もう1語覚えると会話がふくらむのを実感できたからです。

そして、今私は近畿大学で大学生をしています。今までは標準語の敬語ばかりを使っていました。ですが、ここでは友達と話す日本語、先生と話す日本語、まだまだ日本語を日々学んでいます。友達と遊びながら覚えた日本語も、ゼミで覚えた日本語も私の身につけていっています。

どんなにコミュニケーションがとれても、やはり日本語は私にとっては外国語です。テレビをつければ分からない言葉がまだまだ飛び交っています。ですが、新しい言葉がまた私の携帯に入ることに喜びを感じます。一つ、また成長しているのが単語数にでているからです。

最後に、みなさんに言いたいことがあります。

好きこそもの上手なれ、これは私たちが何かを始める時などにとっても重要な考え方

だと思います。楽しむ心を常に忘れず、私もこれから成長していきたいと思います。
ありがとうございました。

〈感想〉

最初ことばのフェスティバルにでてみない？と先生にすすめられたときは、みんなの前でスピーチするってことが恥ずかしくて、せっかく先生が言ってくれたのにもかかわらず、やめておこうと思っていました。が、まわりの友達をはじめ他の知り合いまでも、せっかくだから出てみたら？という声がかかるようになり、いつまでも恥ずかしいということで逃げている自分の性格を直そうという気持ちに次第に変わっていきました。結局は、自分の性格を直そうと気持ちを固め、参加することにしました。

参加申し込みも遅かったし、出ようと決めたのも遅かったので、言葉のフェスティバルに間に合うかどうか心配でした。たったの3分間のスピーチといえども、短期間で完成することは難しく、てこずりました。しかし、自分を応援してくれる友達や先生のためにも自分のためにも頑張らないと、という気持ちで頑張って、何とか言葉のフェスティバルに間に合わせました。自分の中ではなかなか満足できるスピーチが出来ましたので、とてもうれしかったです。

とてもいい経験をさせていただいてありがとうございました。

2. 14 文芸学部1年 韓国語

「私と韓国語」

저는 올해 사월 킨키대학에 입학해서 한국어를 공부하기 시작했습니다. 매일 조금씩 한국어를 공부하고 있습니다. 지금은 내년에 어학연수를 가기 위해서 열심히 하고 있습니다.

한국어 공부를 하게 된 계기는 한국 음악에 흥미가 있었기 때문입니다. 그런데 일본어로 번역이 있어야 알 수 있었습니다. 번역 필요 없이 한국 음악을 알고 싶었습니다. 그래서 한국어 공부를 하고 싶어 했습니다.

킨키대학에 한국어를 전공할 수 있는 코스가 있다는 것을 알고 시험을 보기로 결심했습니다. 대학에서 한국어를 공부하는 내 모습을 상상하며 공부를 했습니다. 합격 통지서가 도착했을 때는 드디어 오랜 꿈을 이루었다는 기쁨을 아직도 잊을 수가 없습니다.

입학 한 후로는 기대한대로 좋은 수업을 받고 취미가 같은 친구들도 있어서 매일 즐겁게 학교를 다니고 있습니다. 매일 공부를 하면서 조금씩 알아들을 수 있게 되고 의미를

할 수 있게 되었습니다. 간단한 대화도 할 수 있게 돼서 공부의 결실을 맺은 것 같아서 기쁩니다. 공부할 때 가장 큰 원동력은 흥미라는 것을 제 경험을 통해서 실감하게 되었습니다.

일본어와 한국어가 비슷한 점이 많아서 배우기 쉽다고들 합니다. 하지만 한국어를 공부하면서 틀리기 쉽고 일본어와 다른 점도 많다는 것을 느꼈습니다. 그때부터 수업이 조금씩 어려워지기 시작했지만 포기하지않고 다음 목표를 위해 앞으로도 열심히 공부할 것입니다.

私は今年の4月、近畿大学に入学して、韓国語を勉強し始めました。毎日少しずつ、韓国語を勉強しています。今は来年の語学研修に行くために、頑張っています。

韓国語の勉強をするようになったきっかけは、韓国の音楽に興味があったからです。当時は日本語の翻訳があってこそ、意味を理解することができました。翻訳に頼らずに、理解できるようになりたくなりました。それで韓国語の勉強をしようと思ったのです。

近畿大学に、韓国語を専攻できるコースがあると知って、受験を決心しました。大学で韓国語を勉強する自分の姿を思い描きながら、勉強を頑張りました。合格の通知が来たときの、ついに長年の夢が叶うんだ！という喜びを今でも覚えています。

入学してからは、期待していたとおりの授業を受けることができ、同じ趣味を持つ友達もいて、毎日わくわくしながら学校に通っています。日々勉強をしながら、少しずつでも聞き取れるようになり、意味もわかるようになりました。簡単な会話ならできるようになり、勉強の成果が表れているようで嬉しいです。勉強をするうえでの、一番大きな原動力は興味であるということ、身をもって実感しました。

日本語と韓国語は、似ている部分が多くて勉強しやすいと聞きます。しかし、勉強をしてみて、似ているからこそ間違えやすく、違った点もたくさんあるということも感じました。それを感じた頃から授業は、少しずつ難しくなっていますが、諦めずに次の目標に向かってこれからも一生懸命学んでいくつもりです。

〈感想〉

10月下旬、わたしは科目の担当の先生から授業中に、ことばのフェスティバルの話を聞きました。最初はそれほど乗り気ではなかったのですが、人前でスピーチをする、しかも外国語での発表ができる機会なんてなかなかないし、おもしろそうだと思い、参加

を決めました。わたしは今年の春、近畿大学に入学し、韓国語の勉強を始めました。自分の実力にそれほど自信があったわけではありませんが、昨年の大会の話も聞いていて、好奇心で参加することになりました。主催の先生方から紹介を受けたパートナーは以前に少し面識があった人で、気楽に取り組めるな、と思っていました。自分の書けるだけの文章を作り、原稿を完成させてパートナーにチェックしてもらいました。自分ではそれなりに自信があったのですが、話すときはこう言わない、この表現の使い方は間違ってる、と次々と訂正され、びっくりしていました。でも、教科書ではまだ習っていないような表現や、聞き手に伝わりやすい表現を教えてもらえたとし、言いたい事自体はちゃんとわかるよ、と言ってもらえて嬉しかったです。

しかし、それからはパートナーとも予定が合わず、わたし自身も忙しくてなかなか練習をすることができませんでした。何とか原稿を頭に叩き込んだ頃、本番前に授業中先生が練習の時間を設けてくださり、人前で発表する練習をすることが出来たのですが、コースの同級生しかいないのにどうにも緊張してしまい、ただの棒読みになってしまいました。先生は褒めてくださったけれど、いまいち勢いがつかず、本番が不安になっていました。それからは毎日原稿を読む練習をしましたが、内容が固い内容だけに聞いていても面白みにかけるし、他の人がどんなことを書いているのかとか、どれぐらいの実力の人がいるのかとか、そんなことばかり考えて練習に気が入りませんでした。

本番当日、不安に思いながらも会場に向かいました。部屋に入った瞬間、とにかくびっくりしました。思っていたよりも規模が大きくて、発表者の前には審査員の先生方がどんと構えていらっしゃるって、席についた途端わたしは萎縮してしまいました。他の発表者の人が話している内容も今ではもう全然覚えていないし、同じ韓国語で発表している人のスピーチを聞くのが嫌になるほどでした。いざ出番がやってきて発表台に立ち、口を開いたとき、震えている自分の声を聞いて足まで震えました。気をつけていたはずの発音にも全然気が回らないし、見なくても言えるようになったはずの原稿にも何度も目を落として、その度に震えている自分の手が目に入って頭が真っ白になりました。大学に入るまでに、何百人もいる生徒の前で発表をした経験が何度もあったので、自分は本番に強いとばかり思っていました。外国語で話しているということと、練習不足が仇になって全くといっていいほど実力を発揮できませんでした。原稿を急遽追加して、言いたいことを言えたこと自体には達成感がありますが、発表全体から考えると余計なことをしたな、と後悔しています。慣れないことはするものじゃないな、と思いました。応援してくれた友達やパートナー、先生には申し訳ない気持ちでいっぱいだし

たが、これで自分の実力を実感することができたし、貴重な経験をすることができたと思っています。

発表を通して感じたことは、準備はやりすぎてもやりすぎではない、ということです。後から聞いた話ですが、参加者の中には週に何度もパートナーと会い、練習をしていた人もいたそうです。わたしは原稿のチェックの一度以外は一切打ち合わせをしてなくて、当然の結果だと思いました。もう少し余裕を持って練習や準備をしていたらよかったと思います。頑張って勉強してきた韓国語でここまで自分のことを表現できると思うと、勉強の成果が表れているようで嬉しいです。また機会があれば参加したいと思います。その時は今回よりも成長した韓国語で、入念な準備をして挑みたいです。

2. 15 文芸学部3年 ドイツ語

「ドイツと日本のお国柄」

Ich heiÙe ○○○.

Ich studiere japanische Literatur. Ich lerne Deutsch 3 Jahre.

Ich werde heute über ethnische Witze und über den Nationalcharakter der beiden Länder Deutschland und Japan erzählen.

Es wird gesagt, dass sich sowohl Deutschland als auch Japan in vielen Dingen ähnlich sind.

Aber natürlich gibt es auch viele Unterschied. Wir Japaner sind angeblich alle gleich, in vielen Dingen unentschlossen und gehen mit unserer Denkweise alle in eine Richtung. Im Gegensatz dazu herrscht das Bild, dass die Deutschen mit Logik ihre Regeln sorgfältig hüten oder immer nur Bier trinken und Wurst essen.

Wenn man sich solch einen Witz über Nationalcharakter anschaut, sieht man, dass es meist eine stereotypische Deformation ist. Menschen haben individuelle Differenzen. Aber ich denke, dass in meinem Land Nationalcharakter existiert und das nicht alles, was über uns gesagt wird, falsch ist. Denn man sagt „an einem Ort, an dem es nicht brennt, kann auch kein Rauch aufsteigen.“

私の名前は○○○です。

日本文学を専攻していて、ドイツ語は3年間勉強しています。

私はこれからエスニックジョークなどにみられる、日本とドイツの「国民性」や「お

国柄」といったものについてお話ししたいと思います。

日本人とドイツ人には似ているところがあると言われます。

そんな二カ国ですが国ごとに持たれているイメージには、やはり違いは多々あります。それらによると、私たち日本人は集団主義的で優柔不断、周りに流されやすく、ドイツ人は論理的でルールを守り、ビールとソーセージをかつ食らっている、ということだそうです。

こういったイメージやジョークにみられる「お国柄」などというものは、大抵ステレオタイプで、デフォルメされたものだし、人間には個人差があります。しかし私は国ごとの「国民性」は存在すると思っていますし、なかなか的を射ている部分もあるかと思っています。「火のないところに煙は立たない」のです。

〈感想〉

私は今回、『ことばのフェスティバル』にドイツ語で参加させてもらいました。しかし私はドイツ語やドイツ文化に触れるのは、とても楽しく大好きなのですが、私はずっと大勢の人の前でスピーチや発表などをするのがとても苦手なので、不安もありました。

そんな私が参加したのは、準備段階での留学生の方との交流というのがとても大きな魅力だったからです。普段生活していても英語文化ならともかく、ドイツ文化と接する機会はなかなか無いので、いいきっかけになると思ったこと、やはり生のドイツ文化に接することができるということが楽しみでした。

実際にドイツからの留学生に手伝ってもらって発表準備をしているときは、お互いに拙いドイツ語、日本語、英語を交えてコミュニケーションをとりました。ビデオなどの受け取るだけのものではなく、やり取りをするというのはこの上ない刺激になりました。発表本番はやはり緊張してしまいましたが、それでも生きた異文化に触れ合えたことは本当にいい経験でした。

2. 16 経営学部2年 中国語

「私と中国語」

大家好。我叫○○○○○，是近畿大学经营系二年级的学生。我开始学习汉语的理由是，在大学入学时，虽然我的第二外语可以从韩语，法语，德语，汉语这四门语言中选择，但是我从中选择了汉语。

至于为什么我选择了汉语，在我看来，汉语很难，但也很有趣，它虽然是我完全未知的语言，但我认为它对将来的将来会很有帮助，所以我想学习它，并希望能用汉语和中国的朋友们交流。实际上，通过这一年来学习汉语，我感触最深的是：汉语的发音和拼音与日语不同，非常难。日语的发音即使有点不同，也能理解它的意思。但是汉语的话发音只是稍微错一点，意思就会完全改变。越学汉语，就越发现有很多地方都不懂，但越想学好汉语了。

虽然我现在还不是很明白，但我的目标是学好它并能用日常会话，并且我还想交许多的中国朋友。在大学四年里，我打算去一次台湾或中国，听真正的中文，吃中国的特色菜。我还想看中国的电影，听中国的音乐并想体验很多中国的文化。

我现在从故乡冈山来到近畿大学求学，在大学里认识的中国人都很热心，也有上进心。不仅很佩服他们，还经常被他们感动。我也想向他们一样不断努力吸收新的知识充实自己的大学生活。谢谢大家。

みなさん、こんにちは。私の名前は〇〇〇〇〇です。近畿大学経営学部の2回生です。

私が中国語を始めたきっかけは、大学に入ったときに、第2外国語を韓国語、フランス語、ドイツ語の中から選べたのですが、その中で中国語を選択したことです。何故中国語にしたのかというと、中国語は発音が難しく、私からすると未知の言語で、是非習得して喋れるようになりたいと思ったからです。実際に1年と少し勉強してきて最も感じることは、中国語は発音やピンインが日本語と違ってとても難しいということです。日本語は発音が多少違っていても理解することができますが、中国語では発音を少し間違えただけで意味が全く変わってしまいます。中国語を勉強すればするほどたくさん分からないと思うことが出てきますが、勉強すればするほどもっと中国語がわかるようになりたいと思います。

今はまだほとんど何も分からない状態ですが、いつか中国の人と日常会話を話せるようになるのが私の目標です。そして中国の友達をいっぱい作りたいです。大学在学中に一回は台湾か中国に行き、現地で生の中国語を聞きたいと思っています。そして、中国の郷土料理を食べてみたいです。そして、中国の映画を見たり、中国の音楽を聴いたりしてたくさんの中国の文化に触れたいです。

私は今、地元の岡山を出て大阪の近畿大学に通っていますが、そこで出会った中国出身の人はとても熱心で向上心の高い人ばかりでいつも感心します。私も見習ってたくさ

んのことを吸収できるように、これからの大学生活を頑張っていきたいです。

〈感想〉

スピーチコンテストは結局覚えた文章も飛んでしまい、悔しい部分もありましたが、私にとって中国語を本格的に学び始める第一歩になったと思っています。私がこの企画に参加しようと思った時は、中国語は好きだけど発音もピンインも少しわかるくらいで、意識しなければすぐめちゃくちゃになってしまい、それでも自分ではよくわからない状態でした。しかし、スピーチコンテストに向けて準備をしていく中で、中国の留学生に指導してもらい、ピンイン発音の大事さが身にしみてわかりました。少しわかるようにもなりました。練習の上でたくさんの中国の方と出会う機会もあり、とても刺激のある準備期間となりました。パートナーの方はとてもいい方で面倒見も良くて、本当に感謝しています。

本番ではいろいろな人の発表を聞いているうちに、中国語を中国語として学習していた自分に気づかされました。中国語は中国という国では、日本語と同じように生活するのに当たり前に使われているもので、日々の積み重ねなんだと改めて思いました。中国語を学習するのではなく、自分の言葉として使いこなせるようになるように、これから頑張っていきたいと思います。

3. 第2回『パートナーシップ』及び『ことばのフェスティバル』の写真

3.1 『パートナーシップ』

交流開始

名刺交換



歓談

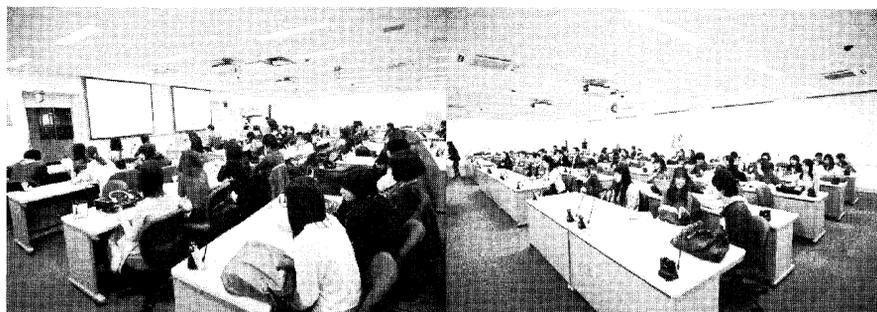
早口ことばゲーム



3.2 『ことばのフェスティバル』

会場（多目的ルーム）

緊張を隠せない参加者たち



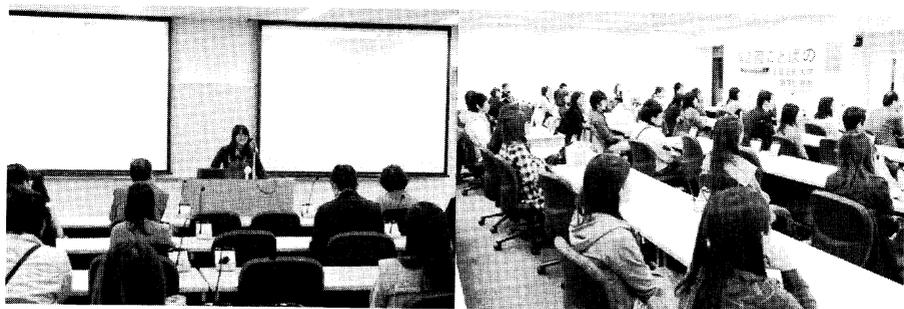
スピーチ①

真剣に聴く審査員



スピーチ②

熱心に見入る観衆



表彰後の発表者たち

発表者と審査員

